

高校では高体連に加盟するのが普通ですからせめて中学は加盟しないと、中学のうちはしっかり勉強させそれがうまく行かなかった生徒は高校からスポーツも選択できるように、というような判断をしたりする学校があるようです。

ところが、中学時代こそ充実した部活動が必要だと私たち茗溪学園の教員は考えています。子どもというものはトータルな人格ですから、ある面は頑張るけれどある面はそこに、というようなことは実はうまくいきません。ここに気づかない大人が多いのです。ひとつのことに楽しみながら打ち込んでいるときこそ、それ以外のことに前向きに取り組めるものです。部活動が楽しくて、どんどん上達していく充実感を得ているとき、同時に学習にも積極的に打ち込んでいけるという面があるのです。ここに“文武両道”という一見非常に困難に見える目標への到達の鍵があります。課外活動へのエネルギーをもすべての学校生活への活力として認識させ、充実した6年間を送らせるという高度な Skill です。

茗溪学園から難関大学といわれる大学学部に進学した生徒で、何も部活動や課外活動をしていなかったという生徒は一人もいません。たとえばこの4月に東京大学に入学した4名はそれぞれ剣道、卓球、吹奏楽、書道・合唱の部活動を高校の最後まで続け、剣道部の生徒は全中まで、卓球部の生徒は県大会上位まで出場しています。書道部の生徒は全国レベルの入賞を果たしています。このような例は枚挙の暇がない、というよりは勉強だけの学校生活を送っている生徒がほとんどいないのです。

日本人の子どもの学力低下問題と学校週5日制が関連付けられ、週6日制を継続している私立学校との競争から“超進学校化”をねらう学校が学習一辺倒に変化してきています。本校の近隣の公立高校でも部活動を縮小し、土曜補習、放課後補習、休日・長期休暇補習と息つく暇もなく補習を連続し

ています。私立中高一貫校も、一部部活動はおいていながら息抜き程度のものであったりします。私はそれを批判するつもりはありませんし、「中高の学生時代は全力で勉強するべきだ」という考え方があっていいと思います。ただ、もし自分の子どもに、知育以外でも個性を発揮できる分野を探せる環境を知育と同時に用意してあげたいとお考えの場合は、その学校が部活動にどのくらい本気で取り組んでいるかは非確認された方がよいということをお話しました。

2月にJICA（国際協力機構）の日中交流プログラムで本校でも中国から短期留学生が二人、2週間の体験をしていきました。中国では朝7時から夜9時まで授業があり、夜も必死に勉強するそうです。科目も体育や芸術などはほとんどなく、いわゆる主要科目がほとんど。そのせいか、学校には英語ネイティブの先生はいないながらも実に上手な英語を話していました。彼らの期間が終了し、帰国するときしみじみ「このような教育がうらやましい、大切なことが学べるように思える」と感想を述べていきました。

茗溪学園中学校は平成17年度、茨城県中体連での活動実績が男子で総合1位となりました。平成18年度は3位でした。このときの中学の部活動の中心選手たちは今、高校2年生や1年生です。彼らが大学進学のとときにどのような結果を出してくれるかで、今回のお話の実証としたいと思います。報告させていただきますので楽しみにお待ちください。



田代 淳一

たしろ じゅんいち

茗溪学園中学校高等学校 教務部長・教員（化学）



茗溪学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。

「有名大学に行きたいから勉強する」のではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来をみつけ、自分で歩いていく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するのが茗溪学園の教員の役割です。

海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。これまでたくさんの帰国生が、夢を追いながら進学していく姿を見て応援してきました。

茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稻荷前 1-1

TEL. 029(851)6611 (代) FAX. 029(851)5455

www.meikei.ac.jp



生徒一人の中での文武両道。それを生徒に達成させるのに、学校・先生が大変な努力をしているのがよく分かりました。田代先生が、日曜日、卓球部の試合で留守がちだったのは、これ？

全人教育。久しぶりで聞きました。この言葉を使わなく（使えなく？）なった私立の学校が増えましたね。

アメリカの高校生への最高の褒め言葉は「Smart」です。勉強だけではなく、スポーツ、リーダーシップ、コミュニケーションにも長けた生徒です。こんなすごい子どもを育てようと、色々、工夫・努力する学校が、一つくらいあっていいじゃないですか。茗溪のように。

Boy be ambitious! （あ！これも日本ではもう死語？）